

防災教育について、国土交通省及び消防庁から協力依頼がありましたので、送付します。

事 務 連 絡  
令和 7 年 4 月 2 5 日

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課  
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課  
附属学校を置く各国公立大学法人担当課 御中  
構造改革特別区域法第 1 2 条第 1 項の認定を  
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課

文 部 科 学 省 総 合 教 育 政 策 局  
男女共同参画共生社会学習・安全課

#### 国土交通省及び消防庁の防災教育に関する取組の周知について（依頼）

平素より、当省の安全教育の取組について御理解、御協力をいただきありがとうございます。

このたび、国土交通省より、児童・生徒が自発的に学習することができる、防災学習のための WEB サイトやツールの周知について別添のとおり協力依頼がありました。

また、消防庁より、インターネット上で、いつでも、誰でも、防災の知識や災害時の危機管理について学習できるサイト「防災・危機管理 e-カレッジ」の周知について別添のとおり協力依頼がありました。

各学校における防災学習の充実に向けて活用等御検討いただきますようお願いいたします。

各都道府県・指定都市教育委員会におかれては、所管の学校（専修学校を含む。以下同じ）及び域内の市区町村教育委員会に対し、各都道府県私立学校主管課におかれては、所轄の学校法人及び学校に対し、各国公立大学法人担当課におかれては、所管の附属学校に対し、構造改革特別区域法（平成 14 年法律第 189 号）第 12 条第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては、所轄の学校設置会社及び学校に対し、周知されるようお願いいたします。

なお、学校における働き方改革の観点から、周知の範囲及び方法については、全ての学校に一律に送付する以外にも、例えば、他の案件とまとめて周知する、教育委員会主催の教員研修の場で配布する等、貴課において必要に応じてご判断いただきますよう、お願い申し上げます。



国土交通省  
防災学習ポータルサイト  
二次元コード



消防庁  
防災・危機管理 e-カレッジ  
二次元コード

#### 【本件担当】

文部科学省総合教育政策局  
男女共同参画共生社会学習・安全課  
安全教育推進室 防災教育係  
電話：03-5253-4111（内線 2670）  
E-mail：anzen@mext.go.jp



事 務 連 絡  
令和 7 年 3 月 28 日

文部科学省総合教育政策局  
男女共同参画共生社会学習・安全課 御中

国土交通省水管理・国土保全局防災課  
気象庁総務部企画課  
国土地理院応用地理部

#### 国土交通省が行う防災教育の取組の周知について（協力依頼）

平素より国土交通省の業務にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年頻発する自然災害から命を守るため、一人一人が災害時において適切な避難行動により安全を確保し、日頃から災害に備えておくことが重要です。

国土交通省では、児童・生徒が自発的に学習することができる、防災学習のためのWEBサイトやツールを多数公開しています。下記及び添付資料について、貴省の関係機関へ周知していただきますようお願いいたします。

具体的な内容としては、理科、社会や総合的な学習等の授業において、自然災害のメカニズムや身近な地域における災害、「自らの命は自らが守る」ための行動や備え、行政等の災害対応、社会参画等を学習することのできる教材や教員の方々にも参考としていただきたい最新の施策の取組状況などを公開しています。また、気象や地理に関する学習素材や、災害写真、動画も多く掲載しています。

なお、国土交通省は全国に地方支分部局がある特性を生かし、地域の特色を取り入れた出前講座を実施することが可能ですので、ぜひご活用下さい。以下の防災学習ポータルサイトに国土交通省防災教育担当窓口一覧（地方整備局等）が載っております。

#### 【今回紹介する学習サイト】

- ・防災学習ポータルサイト（国土交通省、添付 P1,2）

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/>

➤ 全国各地の災害に関する写真・動画を多数掲載（地域検索可能）

※単元・学年・学習内容に沿ったコンテンツを掲載

- ・防災教育に使える副教材・副読本ポータル（気象庁、添付 P3,4）

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/fukukyouzai/index.html>

➤ 地域の防災気象情報を知るための動画、ワークシート等を多数掲載

- ・地理教育の道工具箱（国土地理院、添付 P5）  
<https://www.gsi.go.jp/CHIRIKYOUIKU/index.html>
  - 地理院地図< <https://maps.gsi.go.jp/>>を活用した具体的な素材が豊富
- ・防災用語ウェブサイト（水害・土砂災害）（国土交通省）  
<https://www.river.go.jp/kawabou/glossary/pc/top>
  - 水害・土砂災害に関する用語をイラストとともに分かりやすく解説
- ・流域治水カワナビ（国土交通省、添付 P6）  
<https://www.mlit.go.jp/river/kawanavi/>
  - 水害への備えの呼びかけや水辺の楽しみ方等の記事掲載
- ・NIPPON 防災資産（国土交通省、添付 P7,8）  
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-shisan/index.html>
  - NIPPON 防災資産の制度概要や認定案件の紹介を掲載

#### 【今回紹介するツール】

- ・小中学生向けマイ・タイムライン検討ツール～逃げキッド～（国土交通省、添付 P9,10）  
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>
  - 簡単かつ短時間で小中学生でもマイ・タイムライン※の骨格を学べるツール
  - ※マイ・タイムラインとは、ハザードマップで水害リスクを確認し、大雨の際に、住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」・「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画
- ・気をつけ妖怪カード（国土交通省、添付 P11）  
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>
  - 子ども向けに作成された「妖怪キャラクター」に紐づけて自分の住む場所の水害リスク（ハザードマップの浸水深等）を確認

#### 【問い合わせ先】

<全体について>

国土交通省水管理・国土保全局防災課 宮下、工藤

TEL：03-5253-8438（直通）

mail：[miyashita-t96sr@mlit.go.jp](mailto:miyashita-t96sr@mlit.go.jp)、[kudoh-k2hx@mlit.go.jp](mailto:kudoh-k2hx@mlit.go.jp)

<気象に関することについて>

気象庁総務部企画課 地域防災企画室 田中、大嶋

TEL：03-6758-3900（内線：2235、2214）

mail：[syuichi-tanaka@met.kishou.go.jp](mailto:syuichi-tanaka@met.kishou.go.jp)、[a-ooshima@met.kishou.go.jp](mailto:a-ooshima@met.kishou.go.jp)

<地理に関することについて>

国土地理院応用地理部 防災・地理教育支援事務局

TEL：029-864-1111（内線：6122）

mail：[gsi-bousaichirikyoku-2@gxb.mlit.go.jp](mailto:gsi-bousaichirikyoku-2@gxb.mlit.go.jp)

# 「防災学習ポータルサイト」のリニューアルについて

- 国土交通省では、平成30年3月より防災教育に活用できる素材を掲載した「防災教育ポータル」を開設し、学校や地域における防災教育を支援
- 令和6年4月には、新たに「**防災学習ポータルサイト**」としてリニューアル【リニューアルの内容】
  - ◆子どもが自発的に調べ、自ら学習することができるよう、教材・素材の紹介文を分かりやすく記載した**子ども向けページの作成**
  - ※ワンクリックで切り替え可能な「防災教育ポータルサイト」も教員向けサイトとして継続
  - ◆ユーザインターフェースの改良により**教材の見やすさ改善、検索の利便性向上**
  - ◆全国各地の**災害に関する写真・動画を追加**



子ども向けページ(左上)と教員向けページ(右下)



全国各地の災害に関する写真・動画の検索ページ

- 「防災学習ポータルサイト」では、児童、生徒が自ら防災を学ぶことができる動画をはじめ、楽しみながら防災行動を学べるカードゲーム等、数多くのコンテンツや教材を掲載
- 今後も、様々な防災に関する写真、動画といった素材や最新の教育現場の実態に即した教材等を随時追加していく予定

災害時の危険な状況や気をつけるべきポイントをまとめた「**カードゲーム**」や授業を補完する「**動画**」、防災教育を行う教員のための「**ガイドブック**」もこのポータルに！！



▲防災カードゲーム  
「このつぎなにがおきるかな？」  
～洪水・津波編、土砂災害編、  
地震編を公開しています～



▲子ども向け動画  
「災害から身を守る」



▲子ども向け動画  
「流れる水の働きと土地の変化」



▲教員のためのガイドブック  
「いのちを守る 教員の  
ためのブックレット」



防災学習ポータルサイト

検索

URL: <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>



地域の防災気象情報について、より深く知るための資料リンク集です

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/fukukyouzai/index.html>

## 掲載内容

- [防災教材集](#) …① 防災教育において、特に有効と考える教材を紹介します。
- [動画集](#) …② 授業等で特に活用いただきたい動画を集めました。
- [参考資料集](#)

## ①防災教材集



大雨からの避難を学ぶ ～あなたの命、あなたの大切な人の命を守るeラーニング教材～

台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動を学びます。難しく考えず、気軽に始めよう。

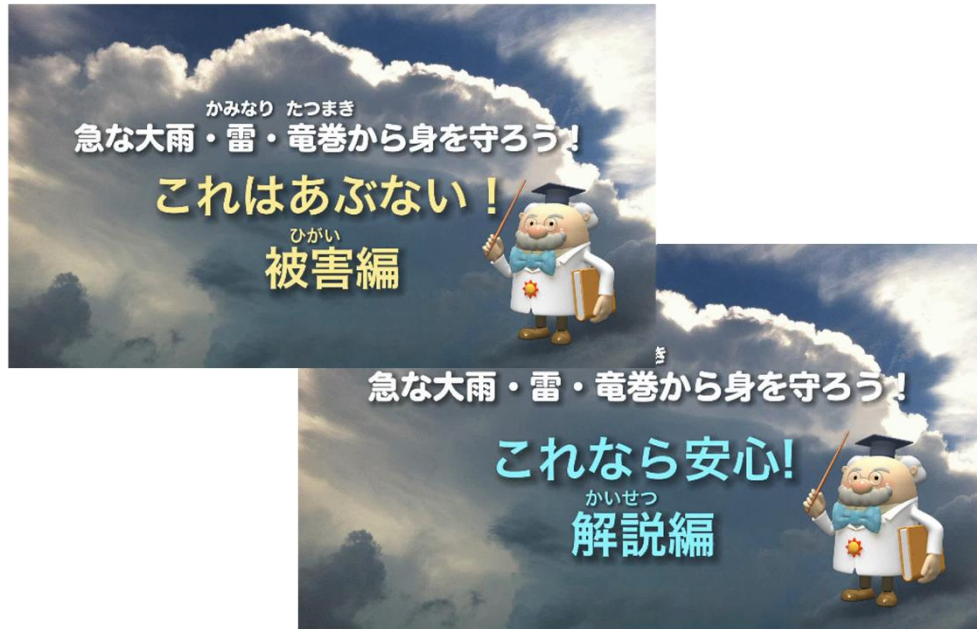
**動画とワークシートで基本的な知識ととるべき行動を学びます**

<p>大雨の時にどう逃げる</p> <p>「避難」の基本</p> <p>身近な災害リスクを知り、的確な避難行動をとる</p> <p>動画教材</p>	<p>ワークシート</p>
<p>「自らの命は自らが守る」基本的知識を身に付ける</p> <p>約17分</p> <p>大雨の時に… 「どこが危ない？」がわかる 「どこに逃げる？」がわかる 「何をしたらいい？」がわかる 「いつ避難したらいい？」がわかる</p> <p>動画教材を視聴</p>	<p>いざというときにためにひとり一人の「避難行動」を整理</p> <p>約30分</p> <p>自分の… 「災害リスク」がわかる 「避難場所」がわかる 「避難にかかる時間」がわかる 「避難のタイミング」がわかる</p> <p>ワークシートに記入</p>
<p>別の防災研修、学習の前にこれだけやろう！</p> <p>「避難」の知識がある方は、ここから！</p> <p>1時間の研修にピッタリ！</p>	
<p>大雨の時にどう逃げる</p> <p>グループワーク</p> <p>みんなで意見交換</p> <p>意見交換して、自分の避難を再確認！理解を深める！WEB会議、または三密を避ける慣れた方法で実施。</p> <p>約30分～40分</p> <p>グループワークを実施</p>	



## ②動画集

- 急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう

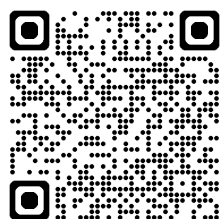
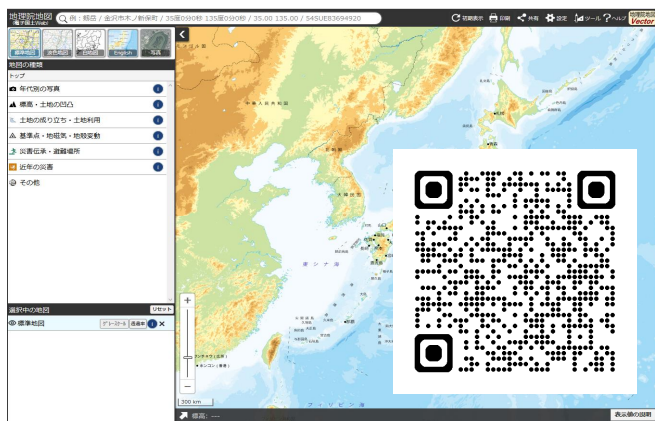


- 「その時あなたはどうする!」緊急地震速報のしくみと心得



- 津波からにげる
- 津波に備える





## 地理院地図

<https://maps.gsi.go.jp/>

- 中学・高校の社会科学習指導要領解説に掲載されている「地理院地図」
- 授業の導入には「地理教育の道具箱」を御活用ください

＼防災にも役立つ！／地理院地図の使い方：

<https://maps.gsi.go.jp/help/intro/school/index.html>

## 地理教育の道具箱

<https://www.gsi.go.jp/CHIRIKYOUIKU/index.html>



地理院地図を  
授業で活用するた  
めのコンテンツが充実！

まち探検・地形学習・  
自然災害など多くの  
授業で活用できます

地理院地図  
の使い方  
情報を表示  
機能を使う

日無用  
教材を作る



一目瞭然！イラストで学ぶ過去の災害と地形

碑宮水



小学3・4年生 ▼ 小学5・6年生 ▼ 中学生 ▼ 高校生 ▼

コラム等 ▼ 動画 ▼ 地理院地図連動 ▼ 地理院地図の使い方 ▼ 単元別一覧表 ▼

## ポイント

- ① 地理院地図を活用した具体的な素材が豊富
- ② 地図で防災・地理を学習できる
- ③ 学習単元に応じたコンテンツを利用できる

○水害への備えや、水辺の事故について注意を促し、楽しく、安全に水辺を楽しむことを呼びかけているウェブサイト。  
○今後も、流域治水の最新の取組の紹介など、教育現場で活用しやすい防災コンテンツの掲載など随時追加していく予定。

**水害への備え**をわかりやすく呼びかける記事や、**水辺の楽しみ方**、**教員の方や専門家インタビュー**なども掲載されています。



最新動画

## TOPICS



流域治水を紹介するショートムービー

Q. 生き物の見分け方のコツを教えてください！

特徴（とくちょう）をおさえることがポイントです。たとえば、カワゲラは胸の部分が3つのおだんごがくっついているようにみえます。カゲロウの幼虫の特徴は、しっぽの本数や腹部についている「えら」の形にあります。トビケラはいもむし型をしています。胸部（きょうぶ：むねの部分）に6本のあしがついている特徴があります。カワゲラ・カゲロウ・トビケラがしっかり区別できるようにすれば、ステップアップです。

カゲロウなどの小さな昆虫とカワゲラと一緒にいれておくと、カワゲラがカゲロウを食べる様子も観察できます。また、保存して観察したい場合には、濃度（のうど）を70%にしたアルコールに入れておきます。じっくり観察できますよ。



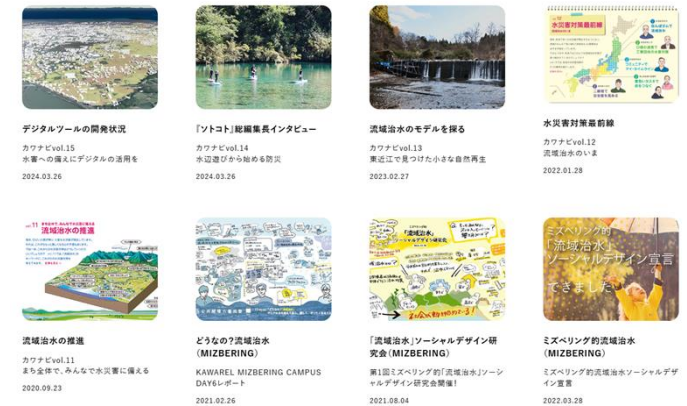
Q. 自宅で飼ってみたいのですが・・・

とても小さいのですが、ウスムシ（プラナリア）はおすすめです。エアレーション（フクブク）も必要ありません。ただ、水温を低く保つ必要があるので、プラスチック容器などに入れて冷蔵庫に入れておくといいです。エサはゆでたまごの黄身を少し入れてあげます。プラナリアはよく見ると、実は「より目」になっているんですね。かわいいですよ！（写真）

あと、トンボの幼虫（ヤゴ）を飼うと、羽化（うか）して成虫になる様子が観察できるので、こちらもおすすめです。



水生生物の話題



流域治水のトレンド紹介や、全国流域治水MAP（取組紹介）など、各種の情報がります



私たちが毎日使う水がどう届くか、その工夫（インフラ整備）を紹介する記事も



<https://www.mlit.go.jp/river/kawanavi/>

○内閣府、国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動※ などを

「NIPPON防災資産」として認定する制度を新たに創設（令和6年5月）。

※活動：語り部、防災に係る催事、防災ツアー等

○ 有識者による選定委員会での審議を踏まえ、本制度の創設後初めて、22件（優良認定：11件、認定：11件）を認定しました。【令和6年9月5日公表】

○この制度概要や認定案件を掲載しているウェブサイト。

## NIPPON防災資産



**NIPPON 防災資産**  
災害伝承に関する良質な施設や活動の普及・拡大



内閣府、国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などを、「NIPPON防災資産」として内閣府特命担当大臣（防災）、国土交通大臣が認定する制度を令和6年5月に新たに創設しました。（令和6年9月5日に第1回の認定案件を公表）

認定制度の概要

認定案件

関連情報

お問い合わせ

災害リスクを自分事化し

主体的な避難行動につながる

地域に貢献する防災行動につながる

施設や取組がブランド化され、地域が活性化していくことも期待されます。

第1回「NIPPON防災資産」の認定案件と選定理由は下記を参照ください↓↓

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001761970.pdf>

クリックすると各案件の概要が表示されます

優良認定

11件



洞爺湖有珠火山マイスター



3.11伝承ロード



焼恋村・天明三年浅瀬山噴火災害語り継ぎ活動



えちごせきかわ 大したもん起まつり



阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



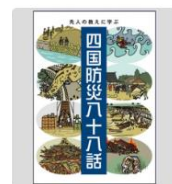
和歌山県土砂災害啓発センター



極むらの火の館



広島市東区災害伝承館



四国防災八十八話



黒潮町の防災ツーリズム



熊本地震 記憶の遺産



ロゴマーク



<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-shisan/index.html>

- 内閣府、国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動※などを「NIPPON防災資産」として認定する制度を新たに創設（令和6年5月）。  
[内閣府特命担当大臣（防災）、国土交通大臣が認定]
- 今後、認定された防災資産を通じて、住民の方々が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、災害リスクを自分事化し、主体的な避難行動や地域に貢献する防災行動につなげていく。

※活動：語り部、防災に係る催事、防災ツアー等

## 背景

- 近年、全国各地で災害が発生し、災害後には「まさか自分が被災者になるとは…」という声が発せられるなど、多くの人が災害を自分のこととしてとらえていない。
- 一方で、過去の災害の伝承により、命が救われた事例もある。



ロゴマーク

## 災害リスクの自分事化に向けて

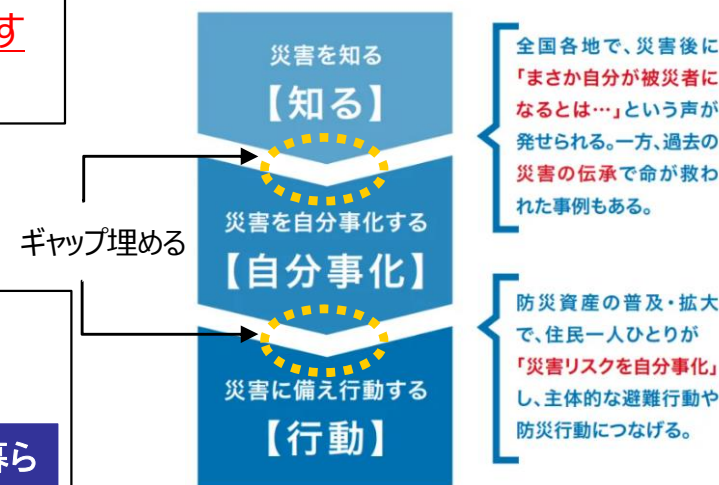
- 認定された防災資産を通じて、住民の方々が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、「災害リスクを自分事化」し、主体的な避難行動や地域に貢献する防災行動につなげる。

## 内閣府特命担当大臣(防災)、国土交通大臣による認定

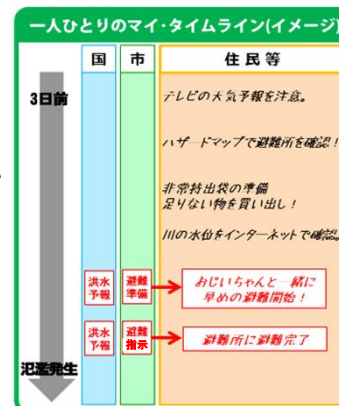
- 内閣府特命担当大臣（防災）、国土交通大臣が認定を実施。  
「優良認定」、「認定」に区分。

- ・「NIPPON防災資産」認定証の授与
- ・ウェブサイト等でコンテンツを紹介

防災資産の普及・拡大によりこの国に暮らすひとりひとりが、災害リスクを自分事化し、主体的な防災行動へ



- ## ●河川の水位変化と洪水時に得られる情報とマイ・タイムラインの作成



「リスクを認識」

- 「逃げるタイミングがわかる」

- 考える

逃げるには？

「コミュニケーションの輪が広がる」

- ・意見交換などで、知り合いになれる等

## マイ・タイムラインができると…

- ❗ 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ❗ 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ



専門家等による  
理解を深める工  
夫  
お天気キャスターによる  
進行や解説

- ・避難するために、どのような情報が必要で何を基準にして避難するかが少し理解できました。
- ・避難先に関する選定が難しく感じた。
- ・情報入手と早く行動することや家族と話し合い自助・共助・公助等、勉強になりました。
- ・個人での対応にも限界があり、地区での共助もあらかじめ決めることも大事。

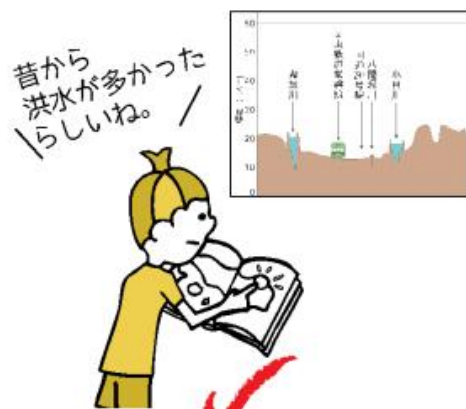
住民参加型の取組により、住民の「水防災意識の高揚」や「水防災知識の向上」、さらに「地域の絆の強化」に寄与

# 「マイ・タイムライン」の検討手順

## Step1

自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

- ・過去の洪水を知る
- ・地形の特徴を知る
- ・水害リスクを知る



## Step2

洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る

- ・洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- ・タイムラインの考え方を知る
- ・洪水時の自分の行動を想定する



## Step3

マイ・タイムラインを作成する  
・自分自身のタイムラインをつくる

マイ・タイムライン(イメージ)

時間	国	市	住民等
3日前			テレビの天気予報を注意して見る。 ハザードマップで避難所を確認。 非常持ち出し袋を準備する。 足りないものを買いに行く。 川の水位をインターネットで確認
洪水予報			おじいちゃんと一緒に早めに避難開始
洪水発生			避難所に避難完了

どのタイミングで、何をしておくのね。



### ❗ リスクを認識できる

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い など

### ❗ いつ、どうやって逃げるかがわかる

- ・何を持っていく？
- ・いつ逃げる？ 誰と逃げる？
- ・危険な場所をよけて逃げるには？

## ～逃げキッドを使って～ マイタイムラインを作ろう



簡単かつ短時間で小中学生でもマイ・タイムラインの骨格を学べるツール。

国土交通省 マイ・タイムラインホームページ

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>



Part1「逃げキッド」ってなあに？

<https://www.youtube.com/watch?v=rJGGs9LDFs0>

# きみの街にひそんでる！ 気をつけ妖怪図鑑

～ ハザードマップの情報をキャラクターで紹介～

## 1. 気をつけ妖怪って何！？

「気をつけ妖怪」とは、台風などで大雨がふると街や川にあらわれる、こわ～い妖怪たちのこと。捕まると水の中に連れて行かれたり、ケガをさせられたりと、とっても危険。住んでいる地域のどこに出現するのか「ハザードマップ」を使ってチェックしよう！



## 2. 危険な妖怪がいっぱい！？

キミの家にはどの妖怪！？



ちやぷん小僧  
浸水深（50cm未満）



びつやり親方  
浸水深（50cm以上～3m未満）



どっぽん入道  
浸水深（3m以上～5m未満）



げきりゅう大王  
浸水深（5m以上）



はんらんぼう  
家屋倒壊等氾濫想定区域



みずあつめ  
避難経路に関する事項  
（アンダーパス）



ひっぱりだこ  
避難経路に関する事項（用水路）

いろんな場所にひそんでる・・・！

## 3. 家の周りの妖怪を確認しよう！！

- ハザードマップで自分の家や近所の 洪水の危険性＝危険な妖怪 を見つけて妖怪カードを手に入れよう！

妖怪たちの詳しい情報や  
使い方・出力方法については、  
国土交通省のWebサイト  
を見てね！



（国土交通省Youtubeチャンネル）（国土交通省 マイ・タイムライン紹介ページ）



事 務 連 絡  
令和7年4月17日

文部科学省総合教育政策局  
男女共同参画共生社会学習・安全課 御中

消防庁国民保護・防災部防災課

「防災・危機管理e-カレッジ」の周知について（協力依頼）

平素より、消防・防災行政の推進に御協力いただき、誠にありがとうございます。

消防庁では、インターネット上で、いつでも、誰でも、防災の知識や災害時の危機管理について学習できるサイト「防災・危機管理e-カレッジ」（以下、「e-カレッジ」という。）を提供しています（URL：<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/>）。

今般、学校と自主防災組織等の地域が連携した防災に関する取り組みを題材としたアニメを掲載しました（別添参照）。

このほか、e-カレッジには、小学校低学年でも楽しく防災を学べるクイズ形式の動画や学校の先生が防災教育を行う上で参考になる動画なども掲載しておりますので、学校における防災教育にe-カレッジを積極的に活用していただけるようお取り計らいのほどよろしくお願いいたします。

なお、e-カレッジの概要については、参考資料をご参照願います。

【担当】

消防庁国民保護・防災部防災課  
鵜飼補佐、田崎係長、三浦事務官  
電話：03-5253-7525



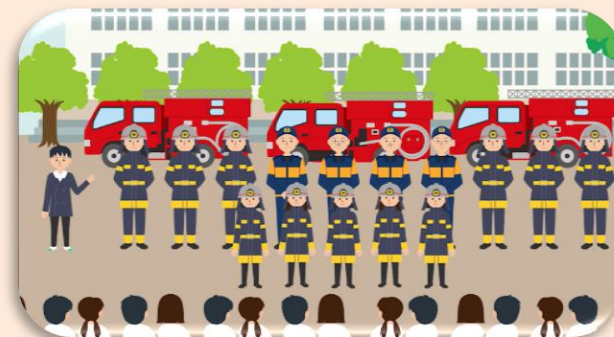
○下掲の「こども向け」のページを下にスクロール  
していくと、右記の動画を見つけることができます。



○下掲の「一般の方向け」のページを下にスクロールし、  
「共助」のタブをクリックすると、右記の動画を見つ  
けることができます。



## 未来の消防団員へ 地域防災教育・ 団員の加入促進 ～消防団×学校がタッグ～



## 「御用聞き」がつなぐ 防災教育 ～新潟県長岡市の将来にわたって 続けられる防災教育支援～



## 『命の矢印』プロジェクト ～支援が必要な方と 一緒に行う合同避難訓練と、 防災を身近にする取り組み～



※訓練時だけでなく、普段から高台方向を意識する「命の矢印」



<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/>



～防災・危機管理e-カレッジの概要～

## 1. はじめに

甚大な被害をもたらした東日本大震災をうけ、また、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震や首都直下地震、頻発する豪雨災害に備え、消防庁では防災対策の充実・強化を図っています。

一方で、大規模な災害に対しては、地域の防災力を高めて被害の軽減を図ることが極めて重要との認識から、地域の防災力を強化するための各種施策を実施しています。

「防災・危機管理e-カレッジ」は、この一環として実施するものであり、住民の方々に、インターネット上で防災・危機管理に関する学びの場等を提供することを目的としています。過去の災害を知り、災害への備えを事前に学習することは、減災に取り組むうえで有効です。

## 2. サイト構成について

「防災・危機管理e-カレッジ」は、次に示すサイト構成となります。

### ■ こども向け



### ■ 一般の方向け



### 3. 学習にあたって

本e-カレッジでの学習においては、受講される皆様のお名前、連絡先などの登録は不要です。  
「防災・危機管理e-カレッジ」の URL (<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/>) にアクセスいただき、ご希望のコンテンツを選んで自由に学習していただくことができます。

### 4. 各コンテンツの概要

#### 4-1. こども向けコンテンツ

こども向けコンテンツは、幼年～小学生を対象としています。

※が付いたコンテンツは、クイズ形式の動画となっているため、保護者の方もお子様と一緒に、災害のことや身を守る方法などについて親子で考えていただきたいと思います。

- 防災を学ぶ必要性を考える
- たいふう(台風)※
- じしん(地震)※
- つなみ(津波)※
- かじ(火事)※
- そなえ(備え)※
- 防災まちづくり(学校と地域が連携した防災力向上に関する取組)

#### 4-2. 一般の方向けコンテンツ

次の各コンテンツは、災害から命、くらしを守るために、是非知っておきたいことが盛り込まれています。

- 防災を学ぶ必要性を考える
  - 防災を学ぶ必要性を考える
- 自然災害(近年の災害から学ぶ)
  - 風水害
  - 地震津波
  - 火山災害
  - 雪害
- 火災(火災の原因と対策を学ぶ)
  - 火災
  - 電気ガス
- 自助(自分自身の身を守ることを学ぶ)
  - 事前の備え
  - 避難行動
  - 救急
- 共助(周囲の人たちと協力し助け合うことを学ぶ)
  - 自主防災組織
  - ボランティア
  - 防災まちづくり(学校と地域が連携した防災力向上に関する取組)